

WHO喫煙対策と グローバルデータバンク

日時 : 2016年11月29日 (火) 18:00-19:30 (開場 17:15)
場所 : 大阪大学吹田キャンパス最先端医療イノベーションセンター棟1F
マルチメディアホール
司会 : 医学系研究科 公衆衛生学教室 磯 博康 教授

喫煙は健康を害する最も大きな要因ですが、残念ながら日本は喫煙対策の大いなる後進国とされています。

WHOのエキスパートが、喫煙対策の世界戦略に関して、大学との研究連携の重要性とデータバンクの活用について講演します。

世界の保健医療に興味のある方、WHOのインターン等を希望している方は、是非ともご参加ください。

1. 「WHO神戸センターの紹介と、大学との連携について」

“Introduction of WHO Kobe Centre and Collaboration with Universities”

WHO神戸センター Director Mr. Alex Ross (BSPH, MSPH)

公衆衛生学修士をカルフォルニア・ロサンゼルス校で取得。
保健医療システム、保健医療計画・政策策定が専門。



2. 「WHOのタバコ・コントロール・グローバルデータバンクの活用法とWHOのたばこ対策、生活習慣病予防に向けた取り組みについて」

“Introduction of WHO PND and Tobacco Control Global Data Bank “

WHO本部 Director Dr. Edouard TURSAN D'ESPAINET
(PhD, MSc, MPH, MA)

WHO本部の生活習慣病部門に所属。2008年より 喫煙対策の包括的情報システムのコーディネーター。世界の喫煙分布、喫煙の健康並びに社会的影響に関するモニタリングと研究の推進責任者。



※ 本講演は英語で行われます。The lecture will be given in English.
参加申込は不要です。

主催 : 大阪大学大学院医学系研究科 公衆衛生学教室

共催 : 世界保健機関 (WHO) 大阪大学グローバルヘルス・イニシアチブ

問い合わせ先 : 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学
廣瀬/志水 sonokohirose@pbhel.med.osaka-u.ac.jp